



おもと

2024
41

www.omotokai.or.jp

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

特定施設入居者生活介護かみはら
多職種のスタッフと
先進のテクノロジーで
安心して快適な暮らしを
提供しています



OMOTO TOPICS

沖縄リハビリテーション福祉学院
沖縄看護専門学校

第31回おもと学園祭

第32回戴帽式

作業療学科公開講座

第27回おもと会合同研究発表会

聴こえや言葉の豆知識 02

耳かきはやめた方がいいって本当？

意外と知らない耳垢と耳掃除の話

おもと四季探訪 アサヒカズラ



厚生労働省が定める基準を
満たした施設なんだよ



特定施設入居者生活介護かみはらは 多職種のスタッフと先進のテクノロジーで 安心して快適な暮らしを提供しています

おもと会発祥の地にあったサ高住かみはらは、2023年に特定施設入居者生活介護かみはらに変わりました。1年あまり経ってどう変わり、どう進化したのか検証するために訪れました。

特定施設入居者生活介護かみはら（以下特定施設かみはら）は、那覇市寄宮の地域包括ケアセンターかみはら内にあります。

特定施設入居者生活介護とは、厚生労働省が定めた基準を満たした有料老人ホームなどの施設で受けられる介護サービスのことをいい、介護保険の対象になりません。

食事の提供、入浴・排泄などの介助、健康管理など、日常生活を支えるための介護が包括的に提供されます。また、利用者一人ひとりの状態に合わせてサポートが行われ、生活の質を保ちながら自立支援も行います。

特定施設の指定を受けて 名称を変更

一昨年、那覇市の公募型プロポーザル選定の結果、当施設が

選ばれて受託することになりました。

特定施設の指定を受けたことで、サービス付き高齢者向け住宅（以下サ高住）でありながら介護保険サービスを提供できる施設となり、昨年9月「サービス付き高齢者向け住宅かみはら」から、「特定施設入居者生活介護かみはら」へ名称を変更しています。また、地域密着事業の特定施設ではないので、那覇市外の方も入所できます。

特定施設の指定を受けた ことによる変化

特定施設に移行後、変わったことがかなりありますので、そのあたりを中心に紹介してみます。

まず、制度面から見ると、指定前は利用者が介護保険サービスを利用する際、それぞれの認



個室は電動ベッドも備えており、大きな窓からベランダに出ると与儀公園を見晴らすこともできます。

定ごとに、施設外の介護サービス事業所と個別契約する必要があるりましたが、指定後は外部の事業所と契約する必要がなくなり、介護保険サービスを施設が直接提供できるようになりました。また、要介護3以上が対象の特別養護老人ホームと同等の



医務室も備わるようになりました。看護師が使用します。

サービスが受けられます。なお、特定施設かみはらは要介護認定を受けていれば入所できます。

具体的に変わったところについて、地域包括ケアセンターかみはらの金城恵利子事務部長は次のように話します。

「まず、指定前、利用者さんの多くは、同じビル内の2階と3階にあるデイサービスかみはらに通い、昼食や口腔ケア、入浴なども含めて、昼間はそこで過ごしていました。それが特定施設内ではできるようになったので、デイサービスに通わなくて済むようになりました」

同じビル内での上下の移動がなくなっただけともいえませんが、毎日のことと考ええると利用

者の負担は軽くなったと思われるます。

また、特定施設かみはらの儀部郁枝管理者は、そのメリットについて次のように話します。

「デイサービスに行っている間は、こちらの職員は関わらなかったのですが、今は365日24時間多職種の職員が関わっています。情報共有がしやすくなりました。訪問診療においては看護師同士で連携を取り合ったりとか、医師同士の情報共有もやりやすくなりました。そうしたことは指定前からやってはいたのですが、指定後は訪問診療の件数は増えていますね」

加えて金城事務部長は「職員も増えました。介護職員はもちらんのこと、他に看護師、理学療法士、生活相談員、ケアマネージャーといったさまざまな専門職のスタッフ、そして管理者が常駐するようになりました」といいます。ちなみに、こうした人員の配置は特定施設の基準として厚生労働省によって定められています。

制度とは別に利用者からすると、そうしたスタッフたちは全員の顔なじみなので、まるで家族のような存在かもしれません。そのため精神的に落ち着き、最

後までここで生活していこうという意識も出てくるといいます。

そして、自立した日常生活が営めるよう、介護保険を利用して各利用者に合った「施設サービス計画書」を作成し、身体機能維持を目指しています。この点はやはり、外部の介護サービス事業所に頼まなくてはならなかった指定前との大きな違いといえます。

ICT導入の一例 眠りSCAN

特定施設に限らず、介護現場ではサービスの質向上や業務効率化推進は、待ったなしの課題となっています。利用者のQOL向上はもちろん、職員の負担を軽くすることで介護離職を減らすことにもつながるからです。

おもと会でも、その点を念頭に新しいテクノロジーを積極的に取り入れています。特定施設かみはらでもその方向に沿ってICT(情報通信技術)の導入を進めています。

そのひとつは眠りSCANという、利用者の睡眠状態を分析するシステムです。ベッドのマットレスの下に敷かれた薄い

シート型のセンサーが睡眠中の心拍、呼吸などの体動を計測し、数値をスタッフのパソコンやスマホに送ります。

「眠りSCANがあるので、利用者さんが起きていたりとか、寝ているとか、座った状態とか、ベッドにいないとか、そうした活動の様子もわかります。従来は、深い眠りに入っているのに夜間の見回りで起こしてしまうこともありました。今では、スタッフがこのデータを把握して、呼吸状態や脈拍が安定していれば、わざわざライトを照らして起こすこともありませんから、利用者さんの睡眠を邪魔することがなくなりました。逆に利用者が起きていけば部屋を訪問して様子をうかがったりもできるようになりました」と金城事務部長。

「保存されたデータを後で検証できるので、たとえば何日前から心拍数がレッドラインに達しているとか、睡眠中の呼吸数が減っているとか、危険な兆候もキャッチできます。それをスタッフ同士で情報共有し、要注意なので夜間こまめに観察しましょうなどといった対応が可能になりましたね」と儀部管理者もいいます。



眠りSCANで得られたデータや、見守りセンサーで撮影された映像がパソコンの画面に表示され、スタッフが利用者さんの状況をリアルタイムで把握できるようになっています。



見守りセンサーは居室内に設置されたカメラです。プライバシーに配慮して利用者本人や家族の了承を得て使用されます。



ベッドのマットレスの下に眠りSCANの本体がセットされています。利用者の体にはいっさい接触せず、呼吸や心拍を計測します。



DFreeは重さ26gという超軽量の超音波センサーで、体に貼りつけると、膀胱内の尿のたまり具合を測定してタブレットなどの端末にデータを送ってくれます。

見守りセンサーで 相乗効果も得られる

また、利用者やその家族の同意を得た上で、見守りセンサーと呼ばれる居室内カメラを設置することもあります。これについて儀部管理者は次のように説明します。

「転びやすい方、あるいは危険行為のある方を対象に設置しています。映像をモニターして本人が動いていることがわかれば、素早くお部屋に行って危険防止に努めます。それが本来の目的ですね。録画された映像を後で見ることができませんので、状況確認や判断の参考」になり、再発防止にも役立ちます」

眠りSCANと居室内カメラを組み合わせることで相乗効果も得られます。これによって生活環境のさらなる安全性向上が可能になりました。



ケアカルテは電子カルテの一種で介護現場でも活用できます。利用者の入院時でも施設側でその様子が確認できます。

さらに、これらのデータを後追ひ検証することで昼夜逆転状態を見つけることができたり、より丹念な観察ができるようになっていきます。

排尿予測のDFreeと 通信機器インカム

DFreeも介護現場で役に立つICT機器といえます。これは、排尿のタイミングを予測するための装置で、超音波センサーを使って膀胱の膨張具合を測定し、尿のたまり状態をリアルタイムでモニタリングします。もちろん使用時の痛みはまったくありません。

スマホやタブレットとの連動によって、スタッフは排尿のタイミングを予測でき、排泄に不安があったり、自力でトイレに行くのが難しい利用者をケアできます。



スタッフが耳に装着しているインカム。骨伝導タイプでクリアに聞こえ、両手がフリーになるので作業の邪魔になりません。

トイレの失敗を減らすことができるので利用者の尊厳を保ちつつ、介護者の負担軽減にもつながります。

「利用者の排尿パターンを見て、本人が覚醒しているタイミングで、トイレへ誘導をするといった対応もできます」と儀部管理者。

また、一見地味ですが、インカム（インターカム）という通信機器もかなりのお役立ちツールです。

携帯電話などとは違い、全員が同じ情報を瞬時に共有できます。また、耳に装着する骨電導

タイプのため、聞きやすい上に両手がフリーになって業務の妨げになりません。

「インカムなら情報共有の面でもかなり便利です。急変があったときに、みんなへ一気に伝達して人を集められたりします。また、たとえばリハビリは2階にあります。6、7階と分かれているので、以前は連絡が取りにくい面もあったのですが、インカムだと連絡が一気にできます」と儀部管理者はそのメリットを説明します。

金城事務部長も「人探しにも役立ちます。だれだれさんどこにいますかとインカムで聞けるので、いちいち電話しなくていいんです」と笑顔で話します。

こうしたICTの導入について、金城事務部長は次のように評価します。

「立地条件から、当施設は5階、6階、7階と3フロアに分かれています。本来はワンフロアの方が業務はやりやすいです。でも、ICTを導入することで、立地の有効活用と業務の効率性



を両立できるようになったと思います。これは非常に大きなメリットですね」

ケアカルテで さらなる連携強化も

特定施設かみはらは、同じおもと会グループで訪問診療に対応しているクリニック安里と連携しています。そのため、必要ときは医師が来てくれるので安心感があります。

また、同じくグループ内の急性期病院である大浜第一病院とも連携しているので、いざというときの入院にも対応します。

しかも、おもと会グループ内で共通のケアカルテ（介護版電子カルテ）を用いるため、入居者の情報共有がよりスムーズに



全員でのリハビリ以外にも、個別でも行っています。このときは理学療法士が下肢の血液循環をよくするマッサージを実施していました。



金城恵利子事務部長はとよみの杜から特定施設かみはらへ異動になりました。「多職種のスタッフが身近にいてくれるし、顔なじみの職員が自分のことを把握してくれていることで、利用者さんが安心して生活ができる面があると思いますね」



儀部郁枝管理者は看護師でもあります。「最近心がけていることは、エラーがあったときに小さなことでも家族に報告・相談して対応策を練ること。そのあたりも利用者・家族の安心感につながっていくと思います」

行えます。

そのほか、医療保険を使って訪問眼科・訪問歯科などの診療を自室にしながら受けることができます。また、自費による訪問リハビリ・訪問理美容・訪問マッサージ・個々の身体状況に応じた追加の福祉機器等も利用可能です。

「コロナが明けたところから少しずつ、外部から招いて保育園児の慰問、ネイルサービス、お化粧、さらにはダンスとか三線といった余興も実施しています。利用者さんが退屈したり、飽きたりしないようにという工夫ですが、特定施設になったからできる面はありますね」と金城事務部長。

おもと会の歴史と先端機器導入が安心感に

ちなみに、住み慣れたエリア

なこともあって、サ高住のころから地域の方が入所されるケースが多かったそうです。

また、特定施設かみはらの入る地域包括ケアセンターかみはらは、おもと会初代理事長・大浜方栄が看護師3人とともに、1959年（昭和34年）に開設した大浜外科医院の跡地にあります。

つまりこは、おもと会発祥の地でもあるわけです。この点について金城事務部長は次のように話します。

「私はもともととよみの杜にいたのですが、かみはらに来て、待機中や入居されている方の多くが大浜初代理事長をご存じなことにびっくりしました。ご本人以外にも家族がご



おもと会グループ発祥の地に建つ地域包括ケアセンターかみはら。そのなかにある特定施設入居者生活介護かみはらのスタッフたち。

存じだったり、親戚の方が知っていたりします。それが理由で、こちらに入居されている方が多い印象ですね。大浜初代理事長に昔お世話になったとか、大浜外科医院に親子三代で通ったとか、そんな話を聞きます」

そうした歴史も背景にしつつ、サービス付き高齢者向け住宅かみはらは、特定施設入居者生活介護かみはらに変わりました。並行してICTという先進のテクノロジーを導入し、進化もしています。

で、安心して親を預けることができるといふ家族さんの言葉をよく聞きます。特定施設としては昨年9月のスタートで、約1年かけてベース作りをしていただきました。おかげで職員も落ち着きつつありますので、こ

れからは私たちが枝葉をつけていきます。日々課題も見つかりますが、みんなで情報共有しつつ解決に向け、一丸となつてがんばっていかうと思っております」と、儀部管理者は今後の方向性を話してくれました。

おもと会ICT導入事例紹介

特養おもと園の先進的な取り組み

特別養護老人ホームおもと園 施設長 呉屋 徹

おもと園は、おもと会のモデル的施設として介護テクノロジーの利用促進に取り組んでいます。これは、先進的な技術が詰め込まれた商品の効果予測と検証を行うことで、サービスの質向上、慢性的な介護人材不足解消と業務負担軽減、効率化を目的とするものです。

現在、ケアカルテ、Microsoft teams、眠りscan、眠りscan eye（カメラ）、インカム、ノーリフト機器各種などが対象となっており、その効果を簡単にお話しします。

ケアカルテは、令和3年に導入され、その前後1年間の介護者の超勤を比較すると3,640時間削減しています。Microsoft teamsは、会議の移動時間をゼロにしてくれています。眠りscanと眠りscan eyeは、ケアカルテと連動することで、利用者の行動確認と睡眠や呼吸状態を把握でき、体調不良などの兆候を察知できるようになりました。また、夜勤者の巡回と記録負担の軽減が図られ、安心して介護業務に専念できます。インカムは、人を探す手間が大きく省け、大声で叫ぶ声も少なくなり、連携が取りやすくなったことで、入浴の作業効率が格段に上がっています。

このように、ICT導入により業務改善が図られた上、事故の未然防止につながり、利用者様への対応が早くなるなど、安全と快適な生活のサポートにも効果が出ています。

今後は、泡シャワーの導入を検討しており、入浴業務の負担軽減と高齢者の乾燥肌予防を図ることで、サービスの質向上と作業の効率化を考えています。



第31回おもと学園祭

10月26日と27日、沖縄リハビリテーション福祉学院と沖縄看護専門学校で第31回おもと学園祭が開催されました。今年度は昨年度より1ヶ月早かったものの涼しい時期であり、天気にも恵まれた学園祭日和だったため、学生も来場者にも大変楽しんでいただけました。

今回の学園祭のテーマは「多職種で作る多彩な世界」。テーマに従い、今年度初の試みである「おもとフードコート」を企画し、各クラスの代表者が食品を提供する場を持ち、他学科との交流のキッカケになりました。



もう一つの初の試みとして5学科合同の体力測定コーナー「POSKN」も開催。日頃の学びを活かせる場として充実していました。来場者も多く、各クラスの学習発表を見学・体験していただき、とてもにぎわっていました。

最終日の午後は舞台上でダンス、歌などの催しが行われました。出演者や司会、観客のみならずのおかげで最高の形で学園祭を締めることができたと思っております。

大いににぎわった学園祭は来年度も同様に開催する予定なので、みなさまのご参加をお待ちしております。

学生自治会代表
沖縄リハビリテーション福祉学院
言語聴覚学科 2年 金城和瑠

沖縄看護専門学校で戴帽式

沖縄看護専門学校では11月2日に第32回戴帽式を執り行いました。この日戴帽式を迎えたのは2年生80名。自ら選んだ道への希望と不安を胸に入学した時からの学生生活を振り返ると、立ちふさがる壁にぶつかることもありましたが、支え合える仲間がいたから進み続けることができました。そして、1年半後に理想とする看護師になるため全員でがんばろうと決意も新たに踏み出す日となりました。



翁長学校長から与えられたナースキャップには「博愛」「責任」「清潔」という看護の精神が込められており、受けとった学生はその重みを感じながらも表情は喜びに満ちていました。

また、歓びの歌として、いきものがかり「歩いていこう」を選曲しました。看護師になるには様々な困難がありますが、今を大切にゆっくりとでも進むしかありません。学生は誓いの言葉で「患者さんと関わる中で、幅広い知識と高い技術を身につけると同時に、最後まで誠意をもって向き合うことの大切さを学びました。そして何よりも患者さんの『ありがとう』の言葉が力になった」と述べていました。今後もこの言葉を忘れず患者さんに誠意をもって関わる看護師であってほしいと思います。

今年度は学生の生の声・演奏を届けることができた戴帽式となり、ご出席のご家族やご来賓の方々からの、たくさんのお祝いの言葉にとても感謝しております。また、3年生の先輩からの自身の体験も交えた激励の言葉に2年生も感化されたようでした。

戴帽式での決意を胸にこれからも患者様に寄り添い、質の高い看護を実践できるよう邁進してまいります。

沖縄看護専門学校 2学年担当
専任教員 少貳夕起子

沖縄リハビリテーション福祉学院 作業療法学科公開講座

侍学園校長の坂本将吏氏を講師に迎え「作業療法士と当事者が語るひきこもり・不登校からの一歩」をテーマに公開講座が開催されました。坂本氏は侍学園で、ひきこもりや不登校から社会に一歩踏み出そうとしている若者の支援をされています。

座談会では、当事者の不登校になるきっかけや、侍学園に通って就労に至るまでのエピソードとともに「否定せず、価値観や考えを受け入れてくれたことが良かった」との思いを聞くことができました。

参加者からは「当事者、作業療法士、保護者各々の目線が参考になった」「子どもたちに何ができるか見えてきた」「気持ちを理解してもらえず苦しんでいる若者に愛情をもって接することが大切だと感じた」など多くの感想が寄せられました。



作業療法学科では「地域の方々を元気にしたい」という思いから、公開講座の企画に至り、今回2回目を開催することができました。引き続き作業療法士養成に邁進してまいります。

沖縄リハビリテーション福祉学院
作業療法学科 専任教員 新里碧

第27回おもと会 合同研究発表会

10月26日(土)13時から17時30分、あめくの杜ふれあいセンターにおいて、第27回おもと会合同研究発表会が開催されました。今年度も感染症状況が不確かだったため、昨年度に続き対面とWEBでの開催となりました。

今回の特別講演では、国が予測する2025年問題を迎えるにあたり、超高齢化社会、認知症の方を地域でどう支えていくのか、家族介護をしながら仕事を続けられるのかといったテーマで、実際に体験したからこそ見えてきたこと等をお話いただきました。

合同研究発表会実行委員会
実行委員長 金城恵利子



こえの知識 聴言豆

02

耳かきはやめた方がいって本当？ 意外と知らない耳垢と耳掃除の話

「耳かきって気持ちいい」と思っている方、実はその習慣、耳の健康に良くないかもしれません。耳垢を取るために耳かきをするのは、当たり前のことだと思っている人も多いでしょう。けれども、耳鼻科医は「耳かきはやめた方がいい」と警告しています。今回は、耳垢と耳掃除に関する意外な事実をご紹介します。

耳垢には「湿った耳垢」と「乾いた耳垢」の2種類がある

まず、耳垢には湿った耳垢と乾いた耳垢という2つのタイプがあることをご存知でしょうか？湿った耳垢は、粘り気があり、黄色がかかったもの。乾いた耳垢は、フレーク状で白っぽいタイプです。この違いは、遺伝子によって決定されていて、ABCC11という遺伝子が関与しています。アジア人には乾いた耳垢が多く、ヨーロッパやアフリカ系の人には湿った耳垢が多いといわれています。この耳垢のタイプの違いは、ただの興味深い雑学で終わるわけではありません。実は、この耳垢の種類が「耳垢栓塞(じこうせんそく)」に関連してくるのです。

耳かきが耳垢栓塞を悪化させる？耳鼻科医の警告

耳垢栓塞とは、耳垢が溜まりすぎて耳道を塞いでしまう状態を指します。これが起こると、難聴を引き起こすことがあります。耳垢が溜まるのを防ぐために、耳かきを定期的に行っている方も多いと思いますが、実はこれが逆効果になる場合があります。耳鼻科医は耳かきの使用を推奨しない理由として、耳垢栓塞のリスクを高めることをあげています。

① 耳垢を奥に押し込むリスク

耳かきを使っていると、表面の耳垢は取れても、実際には奥に押し込んでしまうことが多いのです。特に粘性の高い湿った耳垢を持つ人は、耳道の奥に耳垢が蓄積してしまい、耳垢栓塞を引き起こしやすくなります。

② 自然な耳垢の排出を妨げる

耳には「自浄作用」があり、耳垢は通常、自然に耳の外に排出されます。耳かきを頻繁に使用すると、この自然なメカニズムを乱し、耳垢が正常に外に出なくなる場合があります。耳垢は顎を動かしたり、咀嚼をすることで少しずつ外に押し出されるのですが、耳かきでこれを無理に取り除こうとすると、かえって問題を引き起こすことになるのです。

耳掃除が必要な場合はどうすれば？

耳垢がどうしても気になる場合は、自己処理をせずに耳鼻科を受診しましょう。耳鼻科では、安全に耳垢を取り除くための適切な機器が揃っており、耳道や鼓膜に損傷を与えることなく耳掃除を行ってくれます。プロフェッショナルに任せることが耳の健康を守るための一番の方法です。耳かきはほどほどに！

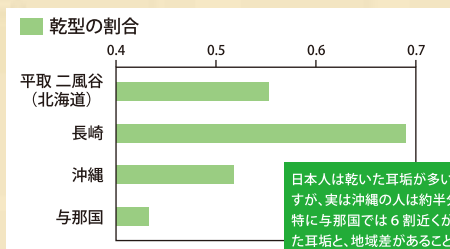


図1「日本における耳垢タイプの違い」
引用: <https://www.megabank.tohoku.ac.jp/genome/archives/tag/abcc11>

沖繩リハビリテーション福祉学院

言語聴覚学科 教務 新城 亮太

おもと四季探訪

vol.24

アサヒカズラ

おもとよみの杜 環境整備課 古堅 宗尚



科・属名: タデ科・アサヒカズラ属 原産地: メキシコ
別名: ニトベカズラ(新渡戸葛) 花言葉: 先駆者・愛の鎖・赤ちゃんの笑み・恥じらい

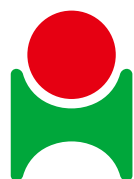
今回紹介するのは、柔らかいピンクが恥じらいを感じさせる花、アサヒカズラです。とよみの杜内では、進入路沿いを登っていくと、右側にピンク色の花を咲かせています。

アサヒカズラは、つる性の半低木で非常に成長が早く、茎はややジグザグ状に伸び、その先端部から花茎を伸ばし、5~15個の花を総状花序につけます。花の直径は10~15mmで、プーゲンビリアの花を小さくした感じで地下に塊根(芋)をつけて冬越しします。

「アサヒカズラ」という和名は、朝日を連想させるような明るいピンクの花がたくさん咲くイメージからです。「ニトベカズラ」という別名もあります。これは、旧5千円札の肖像画にもなり、日本と米国の橋渡し役となった教育家・農政学者の新渡戸稲造博士が、アメリカから持ち帰ったことによります。そうした由来のあるアサヒカズラを鑑賞してみませんか。

すこやかな社会をつくる

- Create a Better Life -



医療法人 | 社会福祉法人 | 学校法人

おもと会グループ



医療



保健



介護・福祉



教育

📍 那覇地区

おもと天久の杜

大浜第一病院

- 急性期一般病棟
- 回復期リハビリ病棟
- 救急センター
- 心血管センター
- 透析センター
- 内視鏡センター
- 糖尿病センター
- 女性腹腔鏡センター
- 代謝外科センター
- 総合健康管理センター
- 訪問リハビリ
- デイケア

特別養護老人ホーム おもと園

- 入所
- 短期入所
- あめくふれあいセンター

おもと会 教育研修センター

在宅総合ケアセンター なは

- 居宅介護支援
- 訪問看護
- ホームヘルプサービス

- 那覇市地域包括支援センター安里
- 那覇市地域包括支援センター安謝

地域包括ケアセンター かみはら

- 特定施設入居者生活介護
- 居宅介護支援
- デイサービス
- 訪問看護
- グループホーム
- 小規模多機能ホーム

ケア・クロッシング 寄宮

- 小規模多機能ホーム
- ホームヘルプサービス
- 福祉用具
- 研修センター CC 寄宮
- NO LIFT® LABO
- LOUNGE O

クリニック安里

- 外来診療・訪問診療
- パワーリハビリおもと
- 訪問リハビリ

📍 宜野湾地区

介護老人保健施設 ぎのわんおもと園

- 入所
- 短期入所
- 居宅介護支援
- デイケア
- グループホーム
- 小規模多機能ホーム
- 介護予防
- 訪問リハビリ

デイサービスセンター 上原

- デイサービス

📍 豊見城地区 / おもととよみの杜

大浜第二病院

- 回復期リハビリ病棟
- 訪問診療
- 医療療養型病床
- 訪問リハビリ
- デイケア

介護老人保健施設 はまゆう

- 入所
- 短期入所
- デイケア

特別養護老人ホーム すみれ

- 入所
- 短期入所
- デイサービス
- 福祉用具
- 介護予防
- おもとふれあいセンター

在宅総合ケアセンター おもととよみの杜

- 居宅介護支援
- デイサービス
- ホームヘルプサービス
- 訪問看護
- 豊見城市地域包括支援センターとよみの杜

ケアハウスひまわり

- 軽費老人ホーム

📍 与那原地区

🏫 沖縄看護専門学校

🏫 沖縄リハビリテーション福祉学院

おもと会 総合案内センター TEL 0120-333-432

<http://www.omotokai.or.jp>